



第94回

私のスケッチブック

## 「地中海料理・ブイヤベースの故郷」

マルセイユ（フランス）



マルセイユは、フランス最大の港湾都市でパリに次いで第二の大都会。パリからTGVで3時間、ベルギーのブリッセルから5時間と鉄道網の整備された地中海の玄関口です。

この作品はマルセイユ旧港から丘の上に立つノートルダム・ド・ラ・ガルド寺院を描いています。ローマ・ビザンチン様式の聖堂で尖塔に立つ黄金のマリア像は、航海に出る船乗り達の安全を見守り続けていると云われます。

さてブイヤベースの話です。南仏プロヴァンス地方の地中海沿岸で供される郷土料理で、魚市場の立つベルジュ河岸からカスピエール通り辺りのレストランで提供されます。どんな料理か？ 魚介類を塩ベースで煮込んだ鍋料理の感覚ですが、この地には「ブイヤベース憲章」なる伝統的な市の公認したレシピがあるとの話です。旅人的にはお店によって色々な味付けが

有っても良いのではと思いますが…それはさて置き、カサゴ・ホウボウ・アンコウ・マトウダイなど定められた4種類以上の魚にエビ・カニなどの魚介類をオリーブ油・ニンニク・サフランにトマトと香味野菜と一緒に煮込んだ料理。食べ方も鍋からスープと魚を取り分けて、先ずスープを味わってから魚介を味わいます。日本人にはイカ・タコ・ムール貝などが入るとより一層美味しい感覚ですが…これは御法度でダメらしい。

私的には余りに濃厚な味で一人前など到底食べ切れませんから、地中海風魚介スープに一切れのパンがあればマルセイユを楽しめます。

旧港は、ヨットやレジャーボートの係留地として賑わっています。天気の良い日は港近くのCaféでポール・モーリアの曲でも聞きながらノンビリするのがお奨め。

マルセイユの港湾機能は、近郊の港町・フォスに外港を移し施設が整備されています。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。

2018年開催「第69回 全国カレンダー展」に10度目の入選を果たし、その実力を発揮する。

<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索